

# キリン食生活文化研究所

2017年8月15日 レポート vol.**67** 

~あなたのくらしのアンケート~

# 集まりでの飲み会・食事会

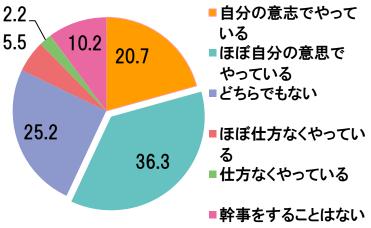
#### サマリー

#### 集まりでの飲み会・食事会

キリン食生活文化研究所は、「集まりでの飲み会・食事会」 について調査を実施(2017年5月23日~5月30日、全国、ウェブ調査)、 男女20~69歳 計19.453名の方の回答をまとめました。

食事会・飲み会の開催を持ちかけた時に、その流れで自分で幹事をすることがある人は90%程いました。その中でも、「自分の意志でやっている」「ほぼ自分の意志でやっている」人は合計57.0%おり、多くの方が自ら進んで会を開催していることがわかりました。

Q.食事会・飲み会の開催を持ちかけた時に、 自分で幹事をすることがありますか?

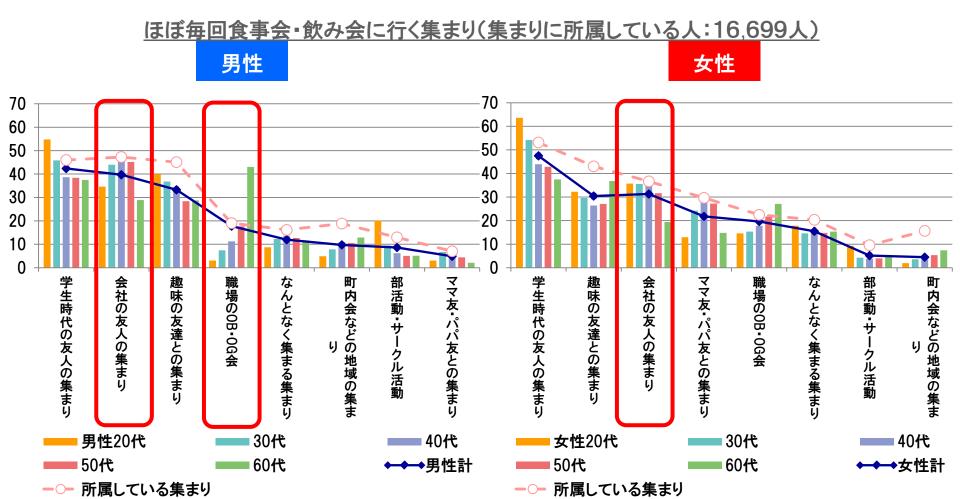


幹事を引き受ける理由としては、「みんなで盛り上がるのが楽しい」が最も高かったですが、「参加者同士の親交を深めたい」「参加者の喜ぶ顔を見たい」「集まりを活性化させたい」など、会や参加者への貢献意識から来るものが上位に多く入っていました。幹事をしてよかったこととしては、「参加者に感謝してもらえる」「喜んでもらえる」という回答が非常に多かったです。

幹事は日程調整やお店の予約など大変なこともありますが、集まりにおける人と人との関係性を良好にしたり、自分も新たな人と出会える機会を得たり、色々と得られるものはありそうです。

# Q.ほぼ毎回食事会・飲み会に行く集まりはどんな集まりですか?

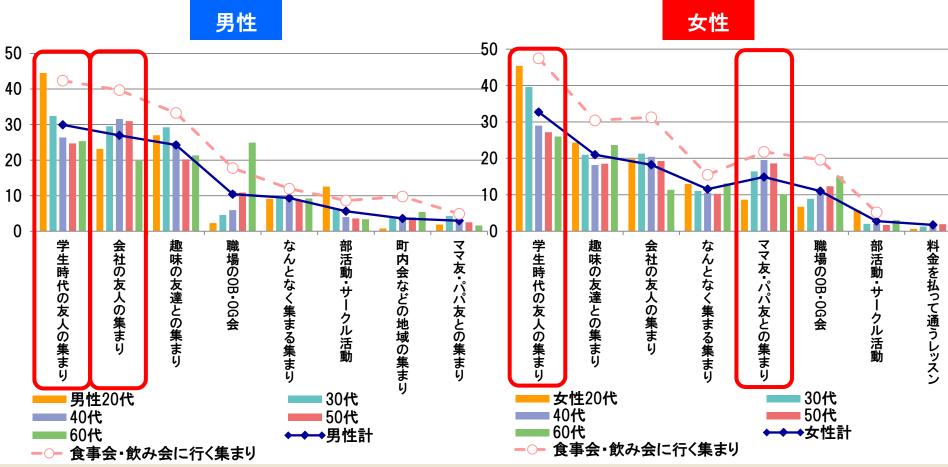
概して男性の方が女性よりも集まりで食事会・飲み会に行く割合が高い。特に「会社の友人の集まり」ではその差が顕著に出ている。特徴的なのは男性60代の「職場のOB・OG会」であり、際立って高い割合で食事会・飲み会が伴っているようだ。



## Q.食事会・飲み会を開くことを自分から持ちかける集まりはどれですか?

「学生時代の友人の集まり」の割合が、男性は20代から30代で大きく下がる一方、女性は30代から40代で大きく下がっている。代わりに上がっているのが、男性は「会社の友人の集まり」、女性は「ママ友・パパ友との集まり」であり、深く関わるコミュニティの変化のタイミングが男女で異なるようだ。

会の開催をもちかける集まり(ほぼ毎回食事会・飲み会に行く集まりがある:15,216人)



# Q.その集まりであなたは食事会・飲み会の幹事をすることがありますか?

自分から会の開催を持ちかける集まりにおいては、60%近くの人が自分の意志で幹事をやっていた。特に20-30代の若い世代において、自分の意志で幹事を行っている人の割合が高い。一方で、会の開催を持ちかけるものの、他の人に幹事を任せている人も10%程いた。

#### 幹事をする集まり(自分から食事会・飲み会をもちかける集まりがある:11,901人)

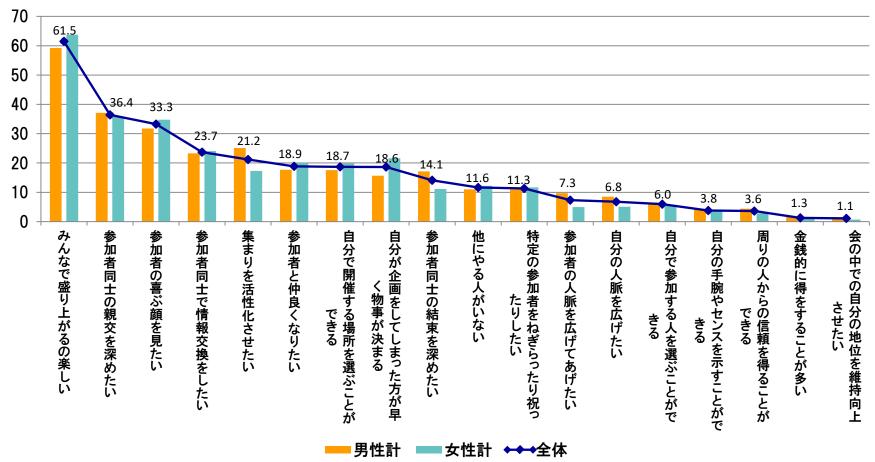


■自分の意志でやっている ■ほぼ自分の意思でやっている ■どちらでもない ■ほぼ仕方なくやっている ■仕方なくやっている ■幹事をすることはない

## Q.その集まりにおいて、幹事をしようと思う理由はなんですか?

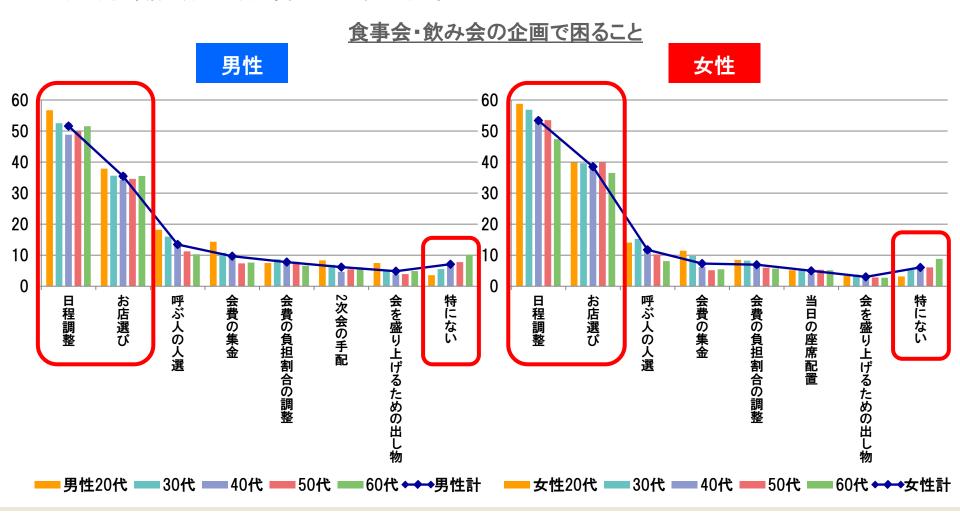
全体的に幹事をしたいと思う理由は「みんなで盛り上がるのが楽しい」がトップ。上位には「参加者の喜ぶ顔が見たい」「集まりを活性化させたい」など、会や参加者への貢献意識から来る理由が多く入っていた。利己的な理由よりも利他的な理由がモチベーションとなっている場合が多いようだ。

#### 幹事をする理由(食事会・飲み会で幹事をする集まりがある:10,690人)



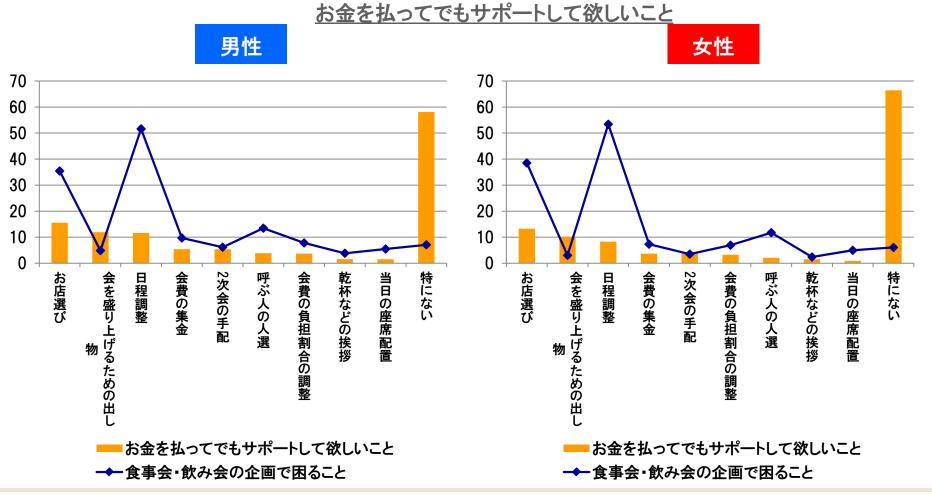
#### Q.食事会・飲み会を企画で困るのはどのようなことですか?

「日程調整」「お店選び」が他と差をつけて上位となった。女性の方が男性よりもお店選びに困っている割合が高く、男性以上に店選びに気を遣っていることが見て取れた。「特にない」の割合は若年層ほど低くなっており、若年層の方が企画で困りごとがあるようだ。



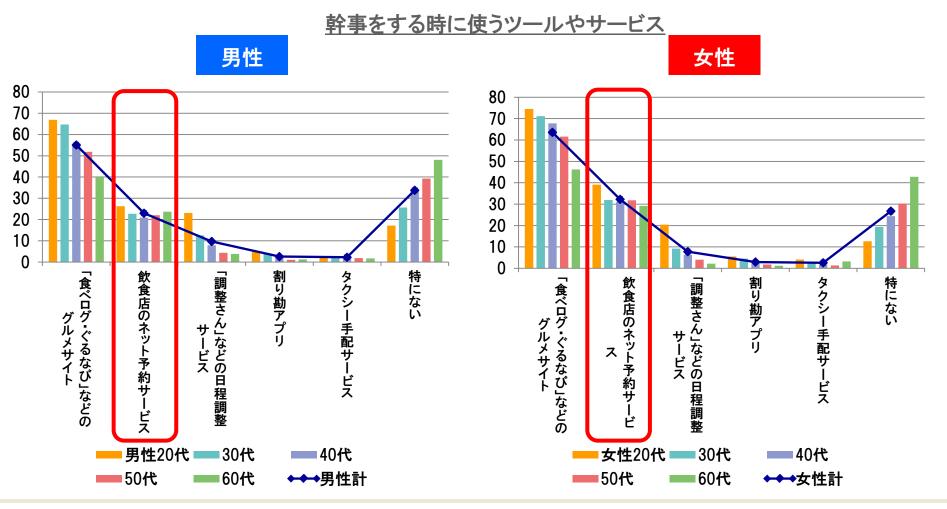
## Q.食事会・飲み会の企画でお金を払ってでもサポートして欲しいことは?

基本的にお金を払ってまでサポートして欲しいと思っているものは少ないが、その中でもまだお金をかけても良いと考えているのは「お店選び」だった。「会を盛り上げるための出し物」は困ることでは下位だったが、お金を払ってでもサポートして欲しいと思っている人はある程度いた。



## Q.あなたが幹事をする時に使うツールやサービスはありますか?

グルメサイトやネット予約サービスの利用率が高く、日程調整サービスも若い世代を中心に利用されているが、他に使われているツールやサービスはあまりないようだ。多くの項目では年齢が上がるにつれて利用率は下がっているが、「飲食店のネット予約サービス」については世代間の差があまり大きくなかった。



## Q.食事会・飲み会を自分で企画してよかったことは? (自由回答)

「参加者に感謝してもらえる」「喜んでもらえる」という回答が非常に多かった。女性は男性と比較するとサプライズ関連の回答が多く、サプライズ企画のために幹事を率先してやる場合も多そうだ。また、「選んだ店を褒められる」など店の選定に関する回答も女性から多く挙げられていた。

#### 食事会・飲み会を自分で企画してよかったこと (自由回答)

『皆の笑顔』が見れる!それに限ります。幹事をして良かったと本当に思える瞬間です!(30代男性)

「楽しかった。また会おうね」「美味しかった。ありがとう」と言われたとき。(60代男性)

出会いの幅が広がり、恋のキューピットにも なれた。(20代男性)

会のあと、参加者から連絡があり、交流がし やすくなること。(50代男性)

「こんな店・酒を知ってるんやで」と少し大きな顔ができる。(30代男性)

予算、店選び、人選が主導で行える。 (30代男性)

自分好みのお店がチョイスできる。 (50代男性)

クレジットカードで支払うとポイントが貯まる。(20代男性)

感謝される 喜ばれる 誕生日等にサプライズ企画をして喜んで泣いてくれたときはとても嬉しかったし良かったです。(20代女性)

「またやってね。」と言ってもらえると嬉しい。(40代女性)

人と人をつなげる 関係を深める

センスの良さを 示せる

> 自分で 調整できる

金銭的に得をする

交友関係が広がり、情報交換の場にもなった。(40代女性)

企画する事をきっかけとして、会が定期的 に継続できるから。(60代女性)

お店のチョイスを誉められた時。(30代女性)

選んだお店をほめられた時にやってよかったといつもおもいます(20代女性)

安価なお店を探して、時間も調整できる。 (50代女性)

サイトでのポイントもたまるので労力に見合った対価がある。(30代女性)

#### Q.食事会・飲み会の企画で人と人の繋がりを作る・強めるために 気をつけることは? (自由回答)

座席の配置や店のレイアウトなどの物理的な環境の工夫や、会の最中にゲームを実施するなどの仕掛けづくりの工夫が多く挙がった。お酒を注ぎ合うことも交流を促進させるものとして重視しているとの意見もあった。一方で、プライベートに踏み込み過ぎないなど、適度な距離感を意図的に保つことも行われている。

人と人との繋がりを作る・強めるために気を付けること (自由回答)

椅子席ではなく、座敷等で食事時の移動が 容易なところ(40代男性)

お店の雰囲気を重視、たとえばあまりうるさい店は選ばない(60代男性)

ビールは瓶ビールで注文できること。 やっぱりついでつがれてする中で会話ができたりしますから(30代男性)

ゲーム性を持たせて参加者全員が楽しめるように席順を当日にクジ引きで決めています。(20代男性)

会話に参加出来ていない人に対するケア など、常に周りに目配りをすること。 (60代男性)

お酒が苦手な人でも楽しんでもらえるよう に配慮すること(50代男性)

あまり仕事の内容を聞かない、話さない、 趣味でもりあげる(50代男性) 交流しやすい 環境づくり なるべくみんなが、みんなの顔を見られる 席を確保できるように気をつけています。 (20代女性)

テーブルの位置と店の雰囲気、そして個室であるかどうか。(50代女性)

交流のための 仕掛けづくり 参加者の誕生日やイベントを覚えておいて、サプライズ企画を当事者以外の参加者で共有しておくこと。(30代女性)

チームに分けてちょっとしたゲームを行ったり、過去の写真や現在の趣味等を紹介してもらうようにしている。(40代女性)

参加者への気遣い・配慮

そのメンバーにあったお店選びや予算、場所を決めてみんなが楽しめるように気を付けています。(30代女性)

適度な距離感

あまり深入りはしないようにする。 (20代女性)